



ROCK PAINT

114ライン

ユメロック®

弱溶剤二液型NADシリコンウレタン樹脂塗料

高耐候性

低汚染性

臭気マイルド

防藻・防カビ性

環境低負荷

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます



114ライン 弱溶剤二液型NADシリコンウレタン樹脂塗料

ユメロック®

「塗りやすく」「美しく」、そして「高耐久性」を兼ね備えました。

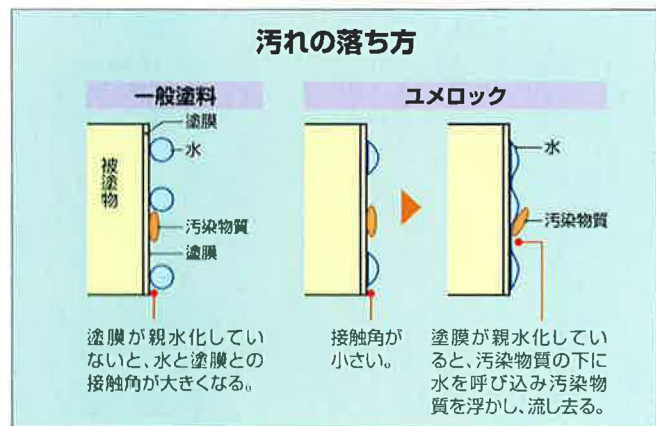
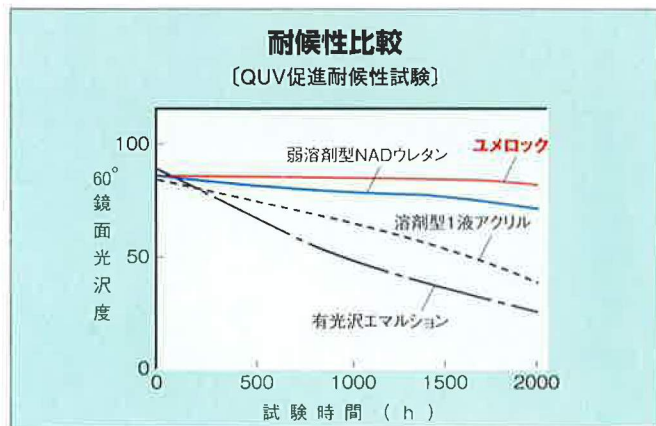
ウレタン樹脂の強靱性、シリコン樹脂の高耐候性、低汚染性の機能を

ハイブリッドさせた弱溶剤型の環境配慮塗料です。

ユメロックは塗料と塗装の夢を美しく彩ります。

特長

- 1. 高耐候性・低汚染性** シリコン樹脂配合により、従来の弱溶剤型ウレタン塗料に比べ、すぐれた耐候性・耐久性及び低汚染性を発揮します。
- 2. ウレタンの強靱な塗膜を形成** 付着性、耐久性、耐アルカリ性、耐薬品性による変退色や光沢の低下が小さく、また、衝撃や寒暖の差による塗膜の割れも起きにくくなっています。
- 3. 塗料用シンナー希釈型** 下地、旧塗膜を侵しにくく直接塗装でき、幅広い塗り替え用途に対応できます。
- 4. 臭気がマイルド** 従来の弱溶剤型NAD塗料のような独特の臭気がなく、非常にマイルドなおいとなっています。
- 5. 防藻・防カビ性** カビや藻類の発生を抑え、清潔な住環境を維持します。
- 6. 環境低負荷** 原料に鉛・クロムなどの有害な重金属を配合せず、環境にもやさしい塗料です。



用途

- コンクリート、モルタル、鉄・非鉄金属部、木部などの新設及び塗り替え。
- サイディングボード、硬質塩ビなどの塗り替え。
- ※ アクリル板、軟質塩ビには塗装できません。 ※ 鉄、非鉄金属部に塗装する場合は、必ず下塗りにサビ止めペイントを塗布してください。
- ※ 木部に塗装する場合は、「木部・弾性用硬化剤」を使用してください。木の材質、下地の状況によっては、われ、はがれを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。

使用方法

- 配合比(重量比): 主剤:硬化剤=9:1 (13.5kg:1.5kg)
- 可使用時間:

気温	5℃	20℃	30℃
可使用時間	18時間	7時間	4時間

シンナー希釈前の原液に対する可使用時間です。硬化剤配合後の塗料は可使用時間内に使い切ってください。
- 希釈剤: 016-0059 塗料用シンナー
- 希釈割合: ハケ・ローラー…… 5~15%
エアレス…… 10~20%
(主剤+硬化剤=100に対する重量比)
- 乾燥時間:

気温	5℃	20℃	30℃
指触乾燥	50分	25分	15分
塗り重ね可能時間	4時間以上	2時間以上	1.5時間以上

乾燥時間は、気温、膜厚、素地の状態などにより多少変わります。
- 調色: 必ず114ライン ユメロックの原色または、ロックトーンカララント3000(ベースの5%以内)を使用してください。ただしロックトーンカララント3000で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。
- 用具の洗浄等にはラッカーシンナーを使用してください。

鉄・非鉄金属部のユメロック塗装に最適な高性能弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー

2液型 サビカット®

- 2液反応硬化型で、付着性、耐久性が良く、すぐれた防食効果を発揮。
 - 鉛・クロム化合物を原料に使用していません。
 - 溶剤力の弱いターベン希釈型で旧塗膜を侵しにくい。
 - 2種ケレンでOK。
 - 鉄、亜鉛メッキ、アルミ、ステンレス、など各種金属への付着性にすぐれる。
- 061-7530 赤サビ色
- 061-7531 グレー
- 061-7532 ホワイト
- (1液型のサビカットプラス、サビカットもありますが、下塗りに2液型サビカットを推奨します。)
- (見本の色は印刷のため実際の色と多少異なります。)

標準常備色

↑ C056 (5.6GY8.5/0.2) [CW56]	↑ C331 (2.0Y8.3/1.4) [CW331]	↑ C111 (5.6Y9.0/1.1) [CW111]
↑ C359 (1.6GY8.3/0.9) [CW359]	↑ C332 (1.6Y7.5/1.6) [CW332]	↑ C710 (2.2Y8.8/1.9) [CW710]
↑ C057 (5.5G7.9/0.2) [CW57]	↑ C479 (8.6YR7.0/2.7) [CW479]	↑ C307 (7.9YR6.0/1.8) [CW307]
↑ C248 (8.8BG6.6/0.3) [CW248]		

(注) ● この見本帳は紙に塗装されていますので、色・ツヤが実際と多少異なります。色彩については、塗り板等で確認してからご注文下さい。また、塗料価格は色によって異なります。
● 現場施工の際は色、ツヤ、広い面積に塗った場合などは、感じや明るさなどが異なって見える場合があります。
● 色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2016年5月)を守ってください。

外装仕上用提案色

下記提案色はすべて調色対応となります。ロックペイントでは、世界の建築物に使用されている色の実用性の高い1021色を選定し、カラーワールド®1000から日本で建物によく使われている色を選んでいきます。

↑ CW109 (4.7Y8.4/1.3)	↑ CW492 (2.4Y7.9/2.4)	↑ CW226 (3.7Y7.9/0.5)
↑ CW105 (8.8YR8.1/2.0)	↑ CW506 (3.1Y7.8/3.0)	↑ CW326 (4.8Y6.9/0.8)
↑ CW471 (5.7YR7.3/2.9)	↑ CW486 (2.7Y7.1/2.2)	↑ CW249 (1.6B5.8/0.3)
↑ CW305 (8.2YR6.8/1.4)	↑ CW333 (2.5Y6.9/1.7)	↑ CW455 (8.2YR4.7/2.5)

標準塗装仕様

1. コンクリート系素地(外壁等)の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗分量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間(20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	032-2106 ビニロック エラストックフィラーIII (可とう形改修塗材E)	水 ローラー : 2~5 砂骨ローラー : 0~2 リジガン、タイルガン : 5~10 エアレス : 5~10	1	0.5~1.5	8時間以上
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

注) ●下塗りはビニロックエラストックフィラー以外に032-2105ビニロックエラストックフィラーも有ります。
●弾性仕上げの場合、硬化剤は本剤・弾性硬化剤を使用してください。

2. 鉄部・非鉄金属部

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗分量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間(20℃)
素地調整	旧塗膜のはがれかかった部分、フクレ部分等劣化塗膜はケレン具で除去する。黒皮、サビなどは電動工具、手工具を用い入念に除去する。(2種ケレン又はSIS S13程度)チョーキング面や汚れ等はサンドペーパーで除去し、乾いた清浄な面とする。				
下塗り	061ライン 2液型サビカット 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

注) ●下塗りに1液型変性エポキシ系の「サビカットプラス」および「サビカット」や、溶剤型2液変性エポキシ系「ロックエポキシハイプライマー」または水溶性エポキシ系「水性サビカット」を使用することもできます。特に高防食性を必要とする場合や、垂塗の目付量の多い傾板には「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー」を推奨します。
●新しい亜鉛メッキ鋼板の場合、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってきたら塗装してください。

施工上の注意事項

- 塗面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装は避けてください。
- 塗料液・硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密閉性、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早くご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 低温時(10℃以下)では硬化剤との反応が遅くなるため、硬化前の降雨、結露などにより塗膜に欠陥を生じる場合があります。低温時に塗装する際は、下表を参考に073-0007反応促進剤を1~2%添加してください。
- 顔色には必ず114ライン ユメロック原色または、ロックオンカララント3000(ベースの5%以内)を使用してください。ただしロックオンカララント3000で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤(114-0140または114-0120)を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 希釈には必ず016-0059塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈すると色と色分けの原因になります。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りを行い、塗い終りにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけローラー塗装してください。
- 吹き付け塗装の場合は、飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- スプレー塗料の先遣は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗らムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 033-0150ウレタン・溶剤型などを下塗り塗膜後、ユメロックを塗装するとちぢみが発生する場合がありますので、適切なシーラーにつきましても、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間も必ず早早上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 不良な塗膜後、素地の付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性があるものの、金属製でできている部分がある場合、錆などを除去し、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗りし、上塗り塗装を実施してください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- 屋外セメント系素地・段差や穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また入り込みの多い面など塗る場合は、各種ロック塗料用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしてください。エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることを必ずおこなってください。
- 高断熱型仕居の外壁を塗装する場合、状況により素地の変形、塗膜にふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてくる場合があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックンタックプライマー-S」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離ははがれ、割れが原因となります。シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることを必ずおこなってください。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックンタックプライマー-S」は塗装できません。
- 比較的緻密な素材である押し出し成形板やGRC板へ塗装する場合は、適性のある溶剤型変性エポキシシーラーを下塗りとして使用してください。
- サイディングボードは種類により塗料が付着しないものがありますので、塗装の際は事前に確認の上、施工してください。
- 各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当該仕様の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- 仕様の数値は標準的な塗装を行う際のものを、標準塗分量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- この仕様書はすべての工程においての標準仕様であり、F☆☆☆☆級放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなる場合がありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や塗物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗膜厚や塗色などにより、実際に塗ると少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。
- 塗料、天候など長時間水の溜まる場所では、塗膜の白化、ふくれなどが発生することがありますので、塗装は避けてください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分に行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などに障害を起こすおそれがありますので、換気良くし、適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。

3. サイディングボードなどの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗分量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間(20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	033-5150 ユメロックシーラー 033-5910 ユメロックシーラー 配合比(重量) 主剤:硬化剤=5:1	(016-0059 塗料用シンナー) ハケ、ローラー、エアレス 0(希釈不要)	1	0.08~0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

注) ●溶剤型の下塗りを使用する際は、旧塗膜の種類、付着状態によりリフティングを生じる恐れがありますので、あらかじめ試し塗りを行ってください。
●ユメロックシーラーを吸い込みの着しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
●ユメロックシーラーの主剤は033-5150(透明)の他に、033-5110(ホワイト)があります。

4. 木部

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗分量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間(20℃)
素地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか、又は焼きコデで処理し、揮発油で拭き取る。節および木の周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要となるときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。				
下塗り	018-1531 ダイナロックIII 下塗り白	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	6時間以上
研磨	サンドペーパーP180~P320で研磨する				
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1 ※硬化剤は114-0140のみ使用可能	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

注) ●木部については、用途(カウンター、テーブル、椅子、机、床等)により塗装に適さない場合がありますので、弊社営業までお問い合わせください。

- そのほかカタログに記載されていない素地(ALC等の多孔質下地、軽量モルタル仕上げ面等)及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 上塗りに鮮やかなカラー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および、健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

- 【製品の危険・有害性】
 - 引火性の液体である。
 - 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
 - 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 【救急処置】
 - 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 【取扱注意事項】
 - 取扱は引火源のないところで、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
 - 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
 - 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは活性炭マスクなどの適切な保護具を着用してください。
 - できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
 - 取扱後は手洗い及びうがいをして十分に洗い、作業着などに付着した汚れをよく落とすしてください。
 - よくふたをし、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
 - 容器は中身を使い切ったから廃棄してください。
 - 指定された以外の製品と混合しないでください。
 - 廃棄の際は産業廃棄物として認可業者に処理を委託してください。
 - 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
 - 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。
- 【施工後の安全性について】
 - 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施工員に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症などにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。



東京営業所 〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
 大阪営業所 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX(06)6473-1000
 札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一街4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX(011)812-9304
 仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号東正ビル201 ☎(022)349-0677 FAX(022)293-3255
 西宮営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX(042)700-3112
 名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福留1丁目1番地 ☎(052)351-0500 FAX(052)361-7433
 岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番3号4 ☎(086)294-1261 FAX(086)294-6956
 福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町鏡ヶ丘3丁目2番1号 ☎(092)962-0601 FAX(092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>
 ※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
 また記載内容について、法律で認められる範囲を超えた転載・複製は禁じます。

販売店: